

史上最多の1137人が参加登録した30キロマラソンのスタート



北海道新聞

発行所
北海道新聞
釧路支社

〒085-8655
釧路市黒金町11丁目5番1号
報道部 電話 0154-31-3550

ホームページ
www.hokkaido-np.co.jp

湿原マラソン
記念新聞

道新スポーツ

涼風を背に快汗！快走！

第39回釧路湿原マラソン

19種目に3900人登録

胸に「がんばろう日本」

第39回釧路湿原マラソン(釧路市、釧路陸協、北海道新聞社など主催)は31日、釧路市民陸上競技場を発着点に開催されました。猛暑が続く道外からの318人を含む3900人が参加登録し、湿原を渡る涼やかな風を受けながら各コースを駆け抜けました。

3キロ、10キロ、30キロのマラソンと15キロ、30キロウォーク

で男女年代別などの19種目が実施されました。参加登録者の最高齢は87歳、60代以上の登録が349人と1割を占めます。

今回は、東日本大震災を受けて、「がんばろう!!日本」のロゴ入りゼッケンを着用して参加しました。午前6時、30キロウォークが1足早く出発。午前9時半からの30キロマラソンに続いて各種目がスタート。



3キロの部でゴール前を激走する小学生ランナー

大会は、市民やスポーツ少年団員、大学生ら約600人がボランティアとして給水や受付、救護、記録係として大会を支えてくれました。

3キロではアイスホッケーの日本製紙クレインズの選手が笑顔で快走しました。

大会は、市民やスポーツ少年団員、大学生ら約600人がボランティアとして給水や受付、救護、記録係として大会を支えてくれました。

午前9時の気温は17・9度、7時すぎに一時雨にみまわれたが、さわやかなマラソン日和となりました。30キロマラソンには、2月の東京マラソンで3位となり、市民ランナーとして世界選手権(8月開幕)韓国代表となった川内優輝選手も出場。開会式で「今日一日みなさんと一緒に、一生懸命走りましょう」とあいさつした。

小学生・中学生のための **参加無料** 見学コースはA(10:30~)とB(11:15~)の2つがあります。

新聞の学校

新聞のすべてが見学できるプログラム

主催●北海道新聞釧路支社 後援●釧路市教育委員会 協力●日本製紙(株)釧路工場、(株)道新総合印刷釧路工場

見学は4カ所 日本製紙釧路工場(鳥取) 道新総合印刷釧路工場(鳥取) 北海道新聞釧路支社(黒金町) 道新販売所(A鳥取・B黒)

お申し込み・詳しいお問い合わせは 下記(道新釧路支社販売部)まで

北海道新聞釧路支社 販売部 ☎(0154) 31-2719 お問い合わせの受付時間 9:30~17:30(平日のみ)



△景観▽時折小雨の降るあいにくの天気となったが、湿原を渡る風を受け、景色と歩みを楽しむ30キロウォーク参加者―8キロ付近

△入念▽「けがをしないように」。スタート前に全員で準備体操―釧路市民陸上競技場



KUSHIRO SHITSUGEN MARATHON

釧路湿原マラソン



写真館



<応援>スタート地点で激励演奏する釧路のしすいりベルバンド



<裏方>7.7キロ付近で飲み物を手渡す給水ボランティア



△宣誓▽選手宣誓は釧路在住の北村寿幸さん(49)、薫さん(37)夫妻と長女の陽菜さん(9)、長男の洸太君(7)の一家



<世界戦士>「一緒にがんばりましょう」とあいさつする川内選手。後方は招待選手の日本製紙クレインズ



△景観▽時折小雨の降るあいにくの天気となったが、湿原を渡る風を受け、景色と歩みを楽しむ30キロウォーク参加者―8キロ付近

△入念▽「けがをしないように」。スタート前に全員で準備体操―釧路市民陸上競技場



KUSHIRO SHITSUGEN MARATHON

釧路湿原マラソン



写真館



<応援>スタート地点で激励演奏する釧路のしすいりベルバンド



<裏方>7.7キロ付近で飲み物を手渡す給水ボランティア



△宣誓▽選手宣誓は釧路在住の北村寿幸さん(49)、薫さん(37)夫妻と長女の陽菜さん(9)、長男の洸太君(7)の一家



<世界戦士>「一緒にがんばりましょう」とあいさつする川内選手。後方は招待選手の日本製紙クレインズ